

委員会の焦点

～委員会審査報告から～



市民交流センター3階の連絡通路

た。

塩尻市保育所における保育に関する条例について、市立と私立（民間保育所）を同じ条例により定めてあるが、今後、市立保育園を民営化する場合、また市立保育園の定員を質問。市は民営化という方向はなく、私立保育園は初めてなので慎重に見ていきたい。定員は面積基準から想定して1千900人で、24年度は1千702人が入園予定との答弁でした。

市民交流センターの3階連絡通路が、休館日の水曜日にも通れるようになり利便性が図られるが、安全対策、人件費など管理に伴う費用を質問。7月から試行予定で、3階の空間スペースと学習室を利用できるようにしたいが、経費は309万5千円を予算計上しているとの答弁でした。

学校図書館システムの導入について、事業内容・作業の対応や終了時期を質問。学校図書を管理するクラウド型システムの導入を行うもので、調べ学習の充実が図られるよう早期導入を目指し、司書を中心にPTAの協力を得て作業を行いたいとの答弁でした。

経済建設委員会 東京アンテナショップ 開設

経済建設委員会に付託された議案は、条例案件2件、事件案件1件、予算案件11件で、慎重審査の結果いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

条例案件の、塩尻市営住宅管理条例の一部を改正する条例は、市営住宅の入居資格の特例として「公営住宅法施行令」に定められている単身で入居できる要件に「六十歳以上の者」を新たに規定するものです。塩尻市自転車等の放置の防止に関する条例は、自転車等の利用者だけでなく、市民・鉄道事業者・施設の設置者等の責務、また、市が保



委員会審査の様子

管した放置自転車の移送等に要する費用の徴収などを定めるものです。

放置自転車を見つけた市民からの通報に対して、警察と市との連携を密にするよう要望しました。

平成24年度予算中の、有害鳥獣等被害対策事業については、「奨励金の創設」を行い、個体調整の強化を図るとの説明を受けました。具体的な報酬金額の質問に対し、狩猟期間中は、シカ1頭5千円、イノシシ1頭3千円との説明がありました。また、有害鳥獣等による農作物等災害対策事業として、パトロール員を増員して4名体制にするとの答弁がありました。

また、地域ブランド推進事業として、継続的に首都圏や中京圏に地域産品のプレゼン

テーションを行うため、物産展へ参加するほか、東京都渋谷区富ヶ谷に「東京アンテナショップ」を開設し、昼はアンテナショップ、夜はワインバーとなり、本市の知名度向上や産品購入の動機づけを図っていくとの答弁がありました。

24年度市水道事業予算では、片丘浄水場の老朽化、機能低下が著しく、施設の更新時期を迎えたため、現在より標高の高い場所に移設更新し、東山麓地域や片丘東部、及び吉田地区のバックアップ体制の強化を図るとの答弁がありました。



東京アンテナショップのイメージ図

